

特集 滋賀県 自動車販売

新型車投入や店舗開設…販社の意欲旺盛 不安要素吹き飛ばせ

25年新車販売 微増の6万5000台

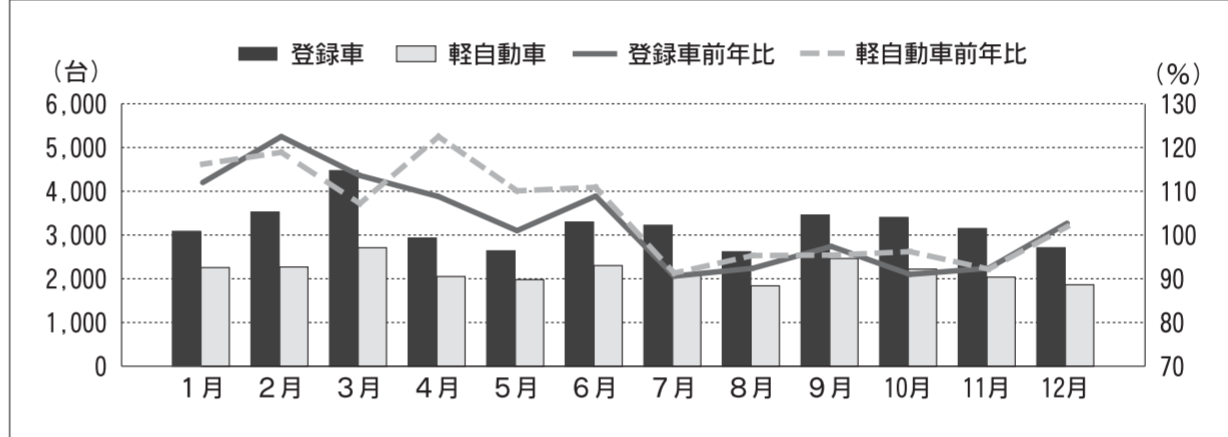
2025年暦年の滋賀県内の新車販売台数は、登録車と軽自動車の合計で約6万5千台を達成、前年比3%増となった。物価高や金利上昇による不透明感が強まった一方で、県内の堅調な需要が下支えした。25年度も終盤を迎えようとしており、物価高騰や人件費増といったコスト負担が利益を圧迫する。ただ、新型車投入や店舗リニューアルとして、共生を掲げた人材戦略など、濃淡はあるものの26年度に向けた各社の意欲は旺盛だ。

経営実態は 増収減益だが

25年滋賀県の新車市場は、供給制約の解消により、販売台数は前年からプラスを達成している。ただ経営実態は「増収減益」の傾向が強い。その要因は複合的だ。まず、数年にわたるベースアップを含む人件費の増加が利益を押し下げている。加えて、店舗投資に伴う建築費高騰が重くのしかかる。さらに25年3月期特有の問題として「環境性能割」の廃止に伴う登録先送りが挙げられる。4月以降の税負担軽減を待つ顧客の動きにより、3月の登録予定車が4月以降にずれ込む「年度末

の足踏み」が各社で観測されており、年度決算への影響は避けられない見通しだ。

滋賀県の2025年登録車、軽自動車の販売台数の推移



整備士不足改善へ「攻め」の対策

採用へと転換している。特筆すべきは外国人整備士の積極採用だ。ベトナムやバングラデシュなど、多国籍な人材が現場を支え始めている。単なる「労働力」ではなく、永住も見据えた「共生型」のキャリアパス構築が急務となっている。また従業員満足(E.S.)向上を目的とした大胆な人員増強も目立つ。あるディーラーでは、整備士を増員することで、土日の有給取得や定時退社を可能にする体制を目指している。「社員が幸せでなければ、質の高い顧客満足(C.S.)は提供できない」という理念が、かつての長時間労働が常態化した業界の風土を塗り替えている。

各社の拠点が 地域熱い場に

店舗戦略では、従来の「クルマを売る・直す」場から、地域コミュニティの核となるモビリティ拠点への転換が加速している。女性や若年層が入りやすい店舗構想や、アウトドアブランドとの協業など、クルマそのものよりも「クルマを使った遊びや暮らし」をイメージさせる空間づくりが重要だ。県内のディーラーは、単なる小売業を超え、地域の移動を支える総合サービス業へと、その姿を変えようとしている。

インタビュー



自販連滋賀 吉川敦巳 支部長

「26年度の新車市場の見通しは、国内外の経済情勢は依然として不安定であり、今年も慎重な見通しが必要だ。一方で、高市早苗総理の掲げる『責任ある積極財政』による景気回復には大きな期待を寄せている。自動車業界にとっては、ガソリン暫定税率や環境性能割の廃止も積極的に取り組む販

「2025年の滋賀県新車市場をどのように総括されますか」
「25年は、滋賀県自動車販売協会が70周年、日本自動車販売協会連合会(自販連) 滋賀県支部が60周年という大きな節目を迎えた年で、非常に意義深い年となった。県内の新車販売台数は、登録車3万3889台、軽自動車2万16063台、合計5万54952台だった。25年1〜6月は前年同期比12.3%増と好調に推移したものの、25年7月以降は前年割れが続いた。結果的に25年は前年比3.1%増にとどまり、『新車販売7万台の復活』には届かなかった。各社とも受注残の配車がより円滑に進んで

外国人・高校生採用に活路

「支部として取り組んでいる」
「最大の課題は『人材確保』。各社とも賃金の大幅なベースアップに取り組んでいるが、他業種と比較するとまだ十分な優位性を持っていないと言えない。40年には日本の65歳以上人口が40%を超えると予測もあり、労働人口の減少はさらに加速する。その中で人材を確保するには、賃金水準の向上だけでなく、ワークライフバランスの確保や労働時間・休日制度の改善も不可欠。こうした課題を解決するには、各社の経営盤強化が前提となる。支部としても市場調査や情報提供、各種支援活動を通じて会員企業を支え、滋賀県の自動車販売業界の持続的発展に貢献していきたい」

いれば、もう一段と積み上げてきた可能性もある」
「見通しは慎重
高市政権に期待
26年度の新車市場の見通しは、国内外の経済情勢は依然として不安定であり、今年も慎重な見通しが必要だ。一方で、高市早苗総理の掲げる『責任ある積極財政』による景気回復には大きな期待を寄せている。自動車業界にとっては、ガソリン暫定税率や環境性能割の廃止も積極的に取り組む販

「最大の課題は『人材確保』。各社とも賃金の大幅なベースアップに取り組んでいるが、他業種と比較するとまだ十分な優位性を持っていないと言えない。40年には日本の65歳以上人口が40%を超えると予測もあり、労働人口の減少はさらに加速する。その中で人材を確保するには、賃金水準の向上だけでなく、ワークライフバランスの確保や労働時間・休日制度の改善も不可欠。こうした課題を解決するには、各社の経営盤強化が前提となる。支部としても市場調査や情報提供、各種支援活動を通じて会員企業を支え、滋賀県の自動車販売業界の持続的発展に貢献していきたい」

TZ SAFETY RADAR JMA-520/401受信対応 移動式オービスMSSS受信対応

安全ドライブレコーダー TZ-SR400

国内生産 3年保証

安全ドライブをサポート！フルスペックで欲しい機能が充実！

- セーフティアナウンスで安全運転をサポート
- 逆走注意エリア・逆走警告
- ゾーン30/ゾーン30プラス
- 標識案内機能
- 事故多発エリア
- 災害・危機管理通報サービス

トヨタ モビリティパーツ株式会社 滋賀支社

やさしい運転で、みんなが笑顔

あなたも一緒に「Omoiyalty Drive (思いやりティドライブ)」はじませんか？

一般社団法人 日本自動車連盟 滋賀支部

〒520-2153 滋賀県大津市一里山5-11-1 TEL.077-544-3300

支部長 佐藤 典道

MAZDA CX-60 XD Drive Edition

パワフルに、快適に、どこまでも

株式会社 京滋マツダ

京都市南区吉祥院向西町1 TEL.075-314-3751

http://www.keiji-mazda.jp

歴代最強、DELICA

滋賀三菱自動車販売株式会社

滋賀県栗東市峰屋963番地1

TEL: 077-552-0371

0120-366-543

